

原則的に尿・便の排泄コントロールが難しい年少児に軟便等の症状があるときは、当該児のプールの使用は避けるべきです。年少児の使用するプールの水は、ほかのプールに比べてより尿・便由来の病原微生物に汚染されやすいと考えてください。

年少児用のプールとして使われるプールは、ほかのプールと同等かそれ以上の洗剤を使用し、使用後の清掃をしっかりと行った上で、遊離塩素濃度の測定と塩素製剤投与による塩素濃度管理を行う必要があるにもかかわらず、そうした管理はほとんどされていません。年少児用プールにおいて、塩素濃度管理を実施することが困難である場合には感染症を防ぐためにも、一人ひとりの園児を対象とした個人用のプール（例えば、タライ等を利用したもの）を使用すべきです。

年少児用プールを利用する場合は、年長児のプールよりもさらに厳重に塩素濃度管理をしてください。これを怠ると、病原微生物の大腸菌はそのプールの中にたくさん存在することになり、そのプールの水を飲み込んだことによる感染が起きることもあります。実は、こうした感染は日常的に起きていますが、大問題になっていないだけです。

なお、プールに入る前には、肛門周囲を石鹸でよく洗ってください。

また、プールから出たあとは、流水でしっかりと目を洗い、うがいをし、シャワーで全身を洗うようにしてください。

6 おもちゃ

子どもたちはおもちゃをなめたり、口に入れたりするために、おもちゃを介して感染症が発症する可能性が高いです。クラスごとにおもちゃは分けて、全園児共通のおもちゃは作らないようにしてください。

子どもが遊び終わったおもちゃは、回収し、汚れたおもちゃ専用ケースに入れるようにしてください。木製やプラスチック製のおもちゃは、石けん水で洗った後、次亜塩素酸ナトリウムに10分以上漬け、その後水ですすいでから乾燥させてください。この際の濃度は100～200ppm程度です。布製のおもちゃは、洗剤で洗濯してから乾燥機で乾燥させるか、あるいは日光消毒をしてください。

7 おむつ交換時に注意すること

- ①おむつ交換は、おむつ交換などの専用のおむつ交換スペースを設け、一旦おむつ交換を始めたら、途中で中断し他の子どもを触ることはしてはいけません。
- ②おむつ交換をする前に、子どものお尻に厚手の紙（包装紙でよい）か、あるいはタオ